

# 海外農業研修生受入事業について

## 1 目的

アセアン等の発展途上国の中核農業青年を我が国に招致し、基礎研修と専門研修（ホームステイ）を組み合わせた約1年間の農業研修を通じて、先進的農業技術、経営方法、流通機構、および農村社会のしくみ等の修得を図る。  
また、研修を通じ諸国の農業の近代化を推進するとともに、我が国の農業者との交流を通じて相互理解と友好親善および文化交流の推進に寄与する。

## 2 実施団体

- ・国の受入組織：公益社団法人国際農業者交流協会[主務官庁：農林水産省、外務省]
- ・県の受入組織：奈良県国際農業者交流協会[事務局：農業水産振興課]

## 3 派遣機関

インドネシア共和国：農業省人材育成庁

## 4 平成28年度研修概要

### 1) 受入期間

平成28年4月13日～平成29年2月23日

うち、奈良県農家での研修期間 平成28年4月27日～平成29年2月19日

### 2) 研修者

インドネシア研修生 2名

## 5 参考

### 1) 平成28年度アセアン農業研修生 受入状況（全国で計55名）

インドネシア：18名、タイ：12名、フィリピン：20名、マレーシア：5名

### 2) 奈良県受入実績（S63～H28）

インドネシア：計23年/66名、タイ：計6年/24名、ドイツ：計4年/4名

（受入式、県内研修等のようす）



受入式（4月13日）



県内研修（左側：ユディ、右側：ホイリ）



研修の様子（研修生 ホイリ）



研修の様子（研修生 ユディ）